

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0108050200020101	事務事業名	土地区画整理総務管理事務事業		担当部	建設部	
					担当課	区画整理課	
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり			担当課長	馬渡 孝誠	
施策名	1	生活基盤の充実			グループ	業務第1グループ	
基本事業名	1	住宅環境の整備			内線番号	2911	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 23 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )		
	款	08 土木費			根拠法令・条例等	なし	
	項	05 都市計画費					
	目	02 土地区画整理費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画	土地区画整理事業		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

現在、施工中の麓第一土地区画整理事業、浜之市土地区画整理事業、単人駅東土地区画整理事業の3地区の区画整理事業を円滑に進めるための必要経費を支出する。  
 ①審議会委員・評価員の報酬 ②事務補佐員の賃金 ③補償交渉のための旅費 ④コピー機のトナーなどの消耗品費 ⑤公用車の燃料費 ⑥光熱水費 ⑦公用車等の修繕費 ⑧通信運搬費 ⑨手数料 ⑩土地区画整理事業賠償責任保険等の保険料 ⑪区画整理区域内管理業務に係る委託料 ⑫土木積算システムの賃借料等の使用料及び賃借料 ⑬区画整理区域内の補修のための原材料費 ⑭下水道使用者協力金としての負担金 ⑮公用車の重量税である公課費

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア	土地区画審議会	回	3	6	4	5
イ	評価委員会	回	0	3	1	3
ウ	事務補佐員	人	1	1	1	1

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア	土地区画整理事業					
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア	事業を円滑に進め完了させる					
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア	ゆとりある住宅を確保できる					
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市経営健全化推進計画(第2次/改定版)(平成26年12月策定)において、持続可能な健全財政を確立するため歳出削減に関する取組みを全庁的に推進するため必要とされ、その中で、需用費や役務費については常にコストを意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・水道の浪費等を厳に慎むことで節減に努め、また、ランニングコスト削減に資する機器の導入等を検討し、維持管理費の削減に努めることとされている。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	6,187	7,250	6,865	7,141
	事業費	千円	6,187	7,250	6,865	7,141

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
①報酬 190,700円 ②賃金 990,000円 ③旅費 349,889円 ④消耗品費 1,205,552円 ⑤燃料費 263,959円 ⑥光熱水費 6,440円 ⑦修繕費 967,734円 ⑧通信運搬費4,100円 ⑨手数料 23,000円 ⑩保険料 562,526円 ⑪委託料 464,800円 ⑫使用料及び賃借料 1,202,868円 ⑬原材料費 158,458円 ⑭負担金補助及び交付金 450,000円 ⑮公課費 25,200円	グループ制による効率的な事務と経費節減に努めながら3地区の区画整理事業を円滑に進めることができ、平成27年度末の3地区の進捗率は麓第一地区は95.4%、浜之市地区は86.5%、単人駅東地区は20.8%となった。

事務事業コード	0108050200020101	事務事業名	土地区画整理総務管理事務事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
B 有効性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	事業に係る経費についてはグループ制により常に節減に努め、経費の節減を実践していることから、これ以上の削減の余地は無い。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	グループ間の相互協力で事務を行っており、これまでの人事異動で職員は減ったが3地区の区画整理事業の事務量が減ったということはなく、むしろ保留地販売に係る事務量等を考えると、これ以上の削減の余地は無い。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・やり方改善					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	本事務事業としては、これまで常に経費の節減に留意しながら事業を効率的に行ってきたり、新たに取組むべき課題はありません。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	常に経費の節減に留意しながら3地区の区画整理事業を円滑に進め、早期に完了できるように努める。また、管理している道路等の維持管理については、必要最低限の修繕費等を確保し、住民への迷惑・不利益が発生しないように努めながら、事業を進める。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0108050201010102	事務事業名	住宅市街地総合整備事業	担当部	建設部		
				担当課	区画整理課		
政策名	01	快速で魅力あるまちづくり		担当課長	馬渡 孝誠		
施策名	01	生活基盤の充実		グループ	業務第1グループ		
基本事業名	01	住宅環境の整備		内線番号	2911		
予算科目	会計	一般会計	事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H10 ~ H30 )			
	款	08 土木費		根拠法令・条例等	特になし		
	項	05 都市計画費					
	目	02 土地区画整理費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画	浜之市土地区画整理事業		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

浜之市土地区画整理事業をスムーズに進め、快適な居住空間の創出、都市機能の更新、特に密集市街地の整備改善を図るため、平成10年度に国土交通省から住宅市街地総合整備事業の認可を受け、平成11年度から事業を実施している。  
 既成市街地(例:住宅密集地)において、公共施設の整備改善を含む総合的な市街地整備を目的とした事業である。住宅市街地総合整備事業区域内の老朽住宅を除去することで、防災上の安全性の確保を図っている。  
 また、建物移転が可能となるスペースも確保することで、区画整理事業のスムーズな進捗に寄与している。  
 ①老朽建築物の除却  
 ②公共施設(道路・公園・コミュニティ施設等)整備  
 ③従前居住者用の受け皿住宅の整備

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	31年度 (見込)
ア	老朽建築物除却棟数	棟	1	2	0	2		2
イ	防火水槽設置数	基	1	0	1	0		0
ウ								

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (実績)	31年度 (見込)
ア	浜之市地区の老朽住宅							
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	31年度 (目標)
ア	買収・除却し、密集市街地を整備改善する							
イ								
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにとどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (実績)	31年度 (目標)
ア	ゆとりある住宅を確保できる							
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

・風水害等で影響があると思われる老朽住宅が多いため、事業対象者から早期の除却を望む声が多かった。  
 ・公園整備については、地区住民等で構成される浜之市地区まちづくり協議会で協議いただき、利用者の利便性の向上、子供達の安全確保、周囲人家への配慮等について出された様々な意見を取り入れながら公園整備を完了させ、近隣住民や子供たちに喜ばれている。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (決算)	31年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	10,537	32,950	4,060	17,477	7,000	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	10,890	8,463	4,330	8,807	7,000	
	一般財源	千円	0	24,587	0	8,770	0	
事業費		千円	21,427	66,000	8,390	35,054	14,000	

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
1. 工事請負費 耐震性貯水槽設置工事 1基 8,390,000円	平成27年度は、耐震性貯水槽を1基整備したことにより、事業計画のとおりの3基の防火水槽の設置が完了し、これまで以上に消防水利の確保ができるようになった。 平成27年度末の事業費ベースの進捗率は83.1%となった。

事務事業 コード	0108050201010102	事務 事業名	住宅市街地総合整備事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
C 効率性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
D 公平性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
E その他	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
F 効果性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	本事業の経費は工事費については入札で決定、老朽建築物等の購入費、老朽建築物等の補償費については、補償調査専門業者が調査して算定した額で、必要最低限と考えるのでこれ以上の削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
G その他	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	現在職員一人に対応しているが、建物調査等はすでに外部委託しており、人件費削減が図られているため、これ以上の削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
H その他	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
<input type="checkbox"/> 見直す必要がある			

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性						
		継続						
		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善の方向性		○						
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	本事務事業としては、常に経費節減を心がけながら、事業を効率的に実施していることから、新たに取組むべき課題はありません。							
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	老朽建築物1棟について、買収補償を行い、2棟について除却工事を実施予定である。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局					
		継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性								
(2)総評								





平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	0108050201010103	事務事業名	麓第一土地区画整理事業			担当部	建設部	
						担当課	区画整理課	
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり			担当課長	馬渡 孝誠		
施策名	01	生活基盤の充実			グループ	業務第2グループ		
基本事業名	01	住宅環境の整備			内線番号	2913		
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H5 ~ H38 )		
	款	08 土木費				根拠法令・条例等	特になし	
	項	05 都市計画費						
	目	02 土地区画整理費						
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価		関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

麓第一地区は、空港前の住宅地として健全な市街地(42.5ha)の形成を図る。工事については、造成に伴う流末排水を考慮した上で、地権者の了承が得られた区域から整備を進めている。当地区は、空港に近く、幼稚園、小・中学校、病院、駐在所、消防分遣所、高速道路インターチェンジなどの公共施設の整った地域であり、現在、地権者から減歩として提供された保留地(宅地)の販売を行っている。販売方法については、空港や周辺企業へ勤める方への周知・霧島市広報誌への掲載・霧島市ホームページでの紹介・鹿児島県宅地建物取引業協会の媒介などを行っている。

①道路整備工事(都市計画道路・区画道路・特殊道路)  
 ②宅地・公園整地工事  
 ③建物等移転補償  
 ④保留地販売

※流末排水(造成地からの雨水等を安定的に処理できる排水施設)  
 ※減歩(地権者の整理前の土地から目的の土地を生み出すために減らした土地面積)  
 ※保留地(地権者の方々から減歩により土地を提供していただき、新たに生み出した土地で、売却収入は事業財源の一部となる。)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 建物移転	戸	0	0	0	0	0	0
イ 宅地整地	m <sup>2</sup>	15,246	7,800	1,319	5,000	3,400	
ウ 道路築造	m	863	300	215	350	520	

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア 麓第一地区の区画整理区域								
イ								
ウ								

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア 良好な宅地として整備する								
イ								
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア ゆとりある住宅を確保できる								
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

区域内の地権者及び近隣住民から、早期完成が望まれている。今後、保留地処分(販売方法)の見直し等、残事業の財源確保や区域内の都市計画道路を含む公共施設等の維持管理が課題となっている。

4. 事業費の推移

事業費	単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
国庫支出金	千円	36,119	0	12,799	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
地方債	千円	63,100	0	9,400	0	0	0
その他	千円	28,827	6,000	1,071	50,000	101,000	
一般財源	千円	25,877	13,000	18,205	7,000	22,000	
事業費	千円	153,923	19,000	41,475	57,000	123,000	
投入量							

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
1. 委託料 仮換地指定通知書作成等 業務委託等 (現年) 4件 3,358,800円 2. 工事請負費 街区整地工事等 (現年) 3件 14,845,800円 区画道路整備工事 (繰越) 2件 23,270,000円	区画道路(85%)が完成し、交通の利便性が向上した。また、整地が完了した宅地において、民間土地取引が顕著に行われ、住宅着工戸数も増え、着実に市街化が進んだ。また、事業費進捗率は約95.4%、仮換地指定率は99.7%、保留地販売は約49.2%となった。

事務事業コード	0108050201010103	事務事業名	麓第一土地区画整理事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？	
	<input type="checkbox"/> 結びついている	
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている	
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	<input type="checkbox"/> 妥当である	
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？	
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある	
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？	
	<input type="checkbox"/> 影響がある	
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
B 有効性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない	
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	宅地整地・区画道路計画の見直しにより、捨土量の抑制と捨土先の検討を行っている。また、宅地盛土及び路体盛土の搬入土(良質土)を他工事から流用することなど、経費の節減を行っており、これ以上の削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない	
	<input type="checkbox"/> 削減できる	
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	類似した事務処理をグループ間で連携することで、業務時間の削減を行っている。また、工事受注者と連携し区域内の維持管理作業に要する人件費の削減も行っており、これ以上の削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない	
	<input type="checkbox"/> 削減できる	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である	
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続・連携					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○			○			
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	国の補助期間終了に伴い、事業財源確保のため保留地処分(販売)の強化が急務である。また、事務処理については、浜之市地区・隼人駅東地区との連携を図り効率的に行っており、新たにに取り組むべき課題はありません。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	事業財源確保のため、保留地処分の実績に繋がる取り組みの強化を図る。工事については、未だに使用収益開始をしていない仮換地(宅地)を優先とし、計画的に工事を進める。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							





平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	0108050201010104	事務事業名	浜之市土地区画整理事業			担当部	建設部	
						担当課	区画整理課	
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり			担当課長	馬渡 孝誠		
施策名	01	生活基盤の充実			グループ	業務第1グループ		
基本事業名	01	住宅環境の整備			内線番号	2912		
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H9 ~ H30 )		
	款	08 土木費				根拠法令・条例等 特になし		
	項	05 都市計画費						
	目	02 土地区画整理費						
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価		関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

平成元年に浜之市地区の住民から区画整理事業の要望があり、平成2年度にまちづくり基本調査、平成3年度に区画整理事業調査を行い、また、平成5年2月には事業推進協議会が設立され、事業実施に向けて取組が始まった。浜之市地区は国道10号沿線、単人港(通称 浜之市港)を中心に発展してきた市街地であるが、地区内の道路は狭く消防自動車などの緊急車両の進入が困難であり、また単人港付近については宅地規模が小さく住宅が密集した住宅地(要移転戸数340戸)であり、公園などが無い状態であったため、都市計画道路・区画街路等整備や公園等の整備と合わせ、土地利用の増進及び安全で快適な住宅地の供給を図り、市街地の再生と地域の発展を目的とした区画整理事業を行う。

①道路築造工事(都市計画道路・区画道路・特殊道路) ②宅地・公園整地工事 ③建物等移転補償  
 ④保留地等販売 ※保留地・・・区域の地権者の方々から減歩により土地を提供していただいて新たに生み出した土地で、売却収入は事業の財源の一部になる。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	建物移転	戸	3	3	7	1	1
イ	宅地整地	m <sup>2</sup>	6,073	3,000	2,727	2,100	3,300
ウ	道路築造	m	378	200	50	130	300

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)	30年度 (見込)
ア	浜之市地区の区画整理対象区域						
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア	良好な宅地として整備する						
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ア	ゆとりある住宅を確保できる						
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成元年に浜之市地区の住民から区画整理事業の要望があり、平成2年度にまちづくり基本調査、平成3年度に区画整理事業調査を行い、また、平成5年2月には事業推進協議会が設立され、事業実施に向けて取組が始まった。区画整理区域内の地権者等から、風水害等で被害が出ると思われる老朽住宅が多かったため、早期の事業完成を望む声が多く聞かれる。

4. 事業費の推移

		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	30年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	42,684	55,000	86,299	38,500	64,900
	県支出金	千円	1,342	1,371	2,500	908	1,531
	地方債	千円	59,000	45,800	63,400	27,500	46,400
	その他	千円	17,568	11,507	6,534	15,136	4,287
	一般財源	千円	0	11,227	16,296	32,956	173,182
事業費		千円	120,594	124,905	175,029	115,000	290,300
投入量							

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>			(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>		
1.委託料			建物移転補償契約が現年予算分で3件、繰越予算分で4件締結出来た。建物が移転完了した街区については、計画的に整地工事等を進めたことで、新築家屋が増えてきている。仮換地指定率は98.9%、事業進捗率は平成27年度末の事業費ベースで86.5%となっている。		
建物調査再算定業務委託等(現年)	3件	1,493,640円			
実施計画変更等業務委託等(繰越)	2件	13,208,400円			
2.工事請負費					
街区整地工事(現年)	4件	12,390,580円			
都市計画道路整備工事(繰越)	2件	10,599,000円			
3.補償補填及び賠償金					
建物等移転補償(現年)	4件	46,730,504円			
建物等移転補償(繰越)	6件	90,606,786円			

事務事業 コード	0108050201010104	事務 事業名	浜之市土地区画整理事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由		
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？			
	<input type="checkbox"/> 結びついている			
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている			
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？			
	<input type="checkbox"/> 妥当である			
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある			
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？			
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある			
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある			
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？			
	<input type="checkbox"/> 影響がある			
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない			
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない			
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない			
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	宅地整地の工法等の検討を行ったり、また可能な限り委託費をまとめて発注することで経費の削減を行っており、これ以上の削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない			
	<input type="checkbox"/> 削減できる			
D 公平性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	グループ制により他地区のグループと連携を図り、効率的な事務を行っている。また、区域内の維持管理については、工事受注者と連携し人件費の削減を行っており、これ以上の削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない			
	<input type="checkbox"/> 削減できる			
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？			
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である			
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続・連携					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○			○			
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	本事務事業としては、これまでも麓第一地区、単人駅東地区との連携で効率的な事務処理に努めてきており、新たに取組むべき課題はありません。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	国道10号(660m)の改良工事を国土交通省への委託工事として工事に着手する他、区域内の街区整地工事、水路整備等を計画的に進め、また、建物移転補償等も進め、事業の早期完成に努める。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							



平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0108050201010105	事務事業名	隼人駅東土地区画整理事業	担当部	建設部	
				担当課	区画整理課	
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり		担当課長	馬渡 孝誠	
施策名	01	生活基盤の充実		グループ	業務第3グループ	
基本事業名	01	住宅環境の整備		内線番号	2915・2916	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H18 ~ H34 )	
	款	08 土木費			特になし <small>根拠法令・条例等</small>	
	項	05 都市計画費				
	目	02 土地区画整理費				
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

住民より道路、公園、水路等の整備を望む声が多数あり、平成10年度にアンケート調査を行い、区画整理事業を導入し、一体的に整備することになった。当該地区は、区域内における自動車の走行可能な道路は幅員も狭く、緊急車両の進入が困難なため、防災上も極めて危険な状況にある。また、近年ミニ開発や共同住宅の建築が行われ、公共施設が未整備なまま宅地化が進んでいるため、土地区画整理事業により、道路、駅前広場、公園等の公共施設の整備を行い、JR隼人駅の東側を新しい交通拠点とした中心市街地の形成を図り、人のにぎわう都市空間を創設する。

①道路築造工事(都市計画道路・区画道路・特殊道路)  
 ②宅地・公園整地工事  
 ③建物等移転補償  
 ④保留地販売 ※保留地…区域の地権者の方々から減歩により土地を提供していただいて新たに生み出した土地で、売却収入は事業の財源の一部になる。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア	建物移転	戸	3	1	1	1
イ	宅地整地	m <sup>2</sup>	0	2,360	10,254	14,465
ウ	道路築造	m	0	588	200	826

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	29年度 (見込)
ア 隼人駅東地区内の区画整理対象区域						
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア 良好な宅地として整備する						
ア 魅力ある空間として整備し、賑わいを創出する						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	29年度 (目標)
ア ゆとりある住宅を確保できる						
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等  
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

区域内の権利者から市の発展のためにも、早期の工事着手・完成を望まれている意見が多いが、一方では一部慎重な意見もある。

4. 事業費の推移

		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
事業費	国庫支出金	千円	267,946	145,750	62,080	266,516
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	197,200	107,300	45,700	196,200
	その他	千円	1,178	0	0	0
	一般財源	千円	24,167	22,950	17,668	36,584
事業費		千円	490,491	276,000	125,448	499,300
投入量						

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>		(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>	
1 委託料 建物調査業務委託等(現年)	2件 3,078,000円	建物調査業務により、移転交渉をするための資料を作成することが出来た。また移転補償を行ったことにより、区画道路の整備や宅地整地が施工出来、併せて支障物件が撤去されたことにより、次年度以降の整備を行うことが可能になった。 工事については、都市計画道路の整備により、区域内の骨格となる幹線道路の整備に着手することが出来た。併せて、隣接する街区整地にも着手することが出来た。 平成27年度末の事業費ベースの進捗率は20.8%、仮換地指定率は54.1%となった。 以上のことから、本区域における良好な宅地の整備に向けて事業が推進された。	
2 工事費 都市計画道路整備工事(現年) 区画道路整備工事(現年) 街区整地工事(現年)	2件 21,575,200円 1件 3,066,720円 1件 1,970,000円		
3 補償補填及び賠償金 建物等移転補償(現年)	3件 95,758,482円		

事務事業コード	0108050201010105	事務事業名	隼人駅東土地地区画整理事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	土地権利者の要望、意見は多岐にわたるため、計画どおり進めることは困難であるが、可能な限り委託等まとめて発注を行っている。また、宅地整備用の盛土材(シラス)を他から受け入れることで経費の削減を行っており、これ以上の削減の余地はない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	グループ制により、他地区のグループと連携を図り、効率的な事務を行い、業務時間の削減を行っており、これ以上の削減の余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続・連携					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○			○			
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	事業計画に基づき仮換地、建物移転補償等の交渉及び、道路整備・街区整地工事を推進し、業務委託等についてもまとめて発注が出来るように努める。また、グループ制により浜之市地区、麓第一地区との連携を図り効果的・効率的に実施していることから新たにに取り組むべき課題はありません。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	幹線道路である都市計画道路(日当山線・駅東線)の整備を進め早期完成を目指す。併せて区画道路の整備を進めるとともに宅地整地を行う。 ・都市計画道路、区画道路等の築造工事を行う。 ・建物等の移転補償交渉を行う。 ・建物調査等の業務委託を行う。 ・JR隼人駅の東口を新しい交通拠点とした、中心市街地の形成を図ると共に、本市の交通体系の機能強化を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							





平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	010805029999901	事務事業名	土地区画整理関係各種協議会等参画事業			担当部	建設部	
						担当課	区画整理課	
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり			担当課長	馬渡 孝誠		
施策名	1	生活基盤の充実			グループ	業務第1グループ		
基本事業名	1	住宅環境の整備			内線番号	2911		
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 22 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )		
	款	08 土木費				根拠法令・条例等		
	項	05 都市計画費						
	目	02 土地区画整理費						
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画	土地区画整理事業			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

土地区画整理事業に係る「街づくり土地区画整理協会」、「全国市街地再開発協会」への年会費及び研修会参加負担金を支払う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	研修会参加者	人	6	4	3	4
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	土地区画整理事業					
イ						
ウ						

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	事業を円滑に進め完了させる					
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	ゆとりある住宅を確保できる					
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

これまで「街づくり土地区画整理協会」、「全国市街地再開発協会」への年会費と毎年参加する研修会参加負担金を支払ってきた。

4. 事業費の推移

		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	224	224	224	224
事業費		千円	224	224	224	224
投入量						

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
負担金 街づくり区画整理協会年会費 132,000円 全国市街地再開発協会年会費 80,000円 住宅市街地整備研修会参加負担金 12,000円	機関紙や研修会資料等の提供により、事業推進のための参考資料を得ることができたり、また、斡旋された各種の研修の中から、事業に有用な研修に参加することができた。

事務事業コード	0108050299999901	事務事業名	土地区画整理関係各種協議会等参画事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？	
	<input type="checkbox"/> 結びついている	
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている	
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	<input type="checkbox"/> 妥当である	
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？	
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある	
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？	
	<input type="checkbox"/> 影響がある	
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
B 有効性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない	
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	本事務事業に要する経費は、「街づくり土地区画整理協会」、「全国市街地再開発協会」への年会費及び研修会参加負担金で、それぞれの自治体に応じた年会費が設定されているため、これ以上の削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない	
	<input type="checkbox"/> 削減できる	
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	本事務事業は、団体等への年会費等の支払い事務で、これに携わる職員は1名で、これ以上の削減はできない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない	
	<input type="checkbox"/> 削減できる	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である	
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		継続					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○						
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	本事務事業は、土地区画整理事業に係る「街づくり土地区画整理協会」、「全国市街地再開発協会」への年会費及び研修会参加負担金の支払事務のみで、新たに取組むべき課題はありません。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	各種の研修会に職員を多数参加させることで、職員の能力アップを図り、事業の早期完成に繋げる。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

